

令和7年度 第2回伊那北高等学校評議員懇談会報告

学校評議員運営委員会

I	日時：令和8年1月31日（土）	16：10～17：00
II	会場：高志館1階研修室	
III	出席者：〔評議員〕 有賀 泰司（義務教育関係） 竹田 謙一（大学関係） 傳田 智子（上伊那広域連合） 福沢 勉（自治会関係） 松井 秀之（企業関係 欠席） 岩崎 靖（同窓会関係） 寺澤 美智代（保護者）	
	〔職員〕 校長 教頭 事務長 朝倉（教務） 倉石（進路 欠席） 半場（生徒指導・学校評価 欠席） 伊東（特別支援） 黒岩（CPA） 松村（PTA） 入戸（職場代表 欠席）	
IV	次第：（司会：教頭）	
	1 学校長挨拶	
	2 第1回評議員会懇談会のまとめ	
	3 本年度の本校活動中間報告	
	(1) 進路指導について（黒岩） (2) 生徒指導について（伊東）	
	(3) 特別支援・生徒相談について（伊東） (4) 学校評価について（教頭）	
	(5) 薫ヶ丘CPAについて（黒岩） (6) PTAについて（松村）	
	(7) 高校の特色化について（教頭）	
	4 意見交換	
	5 学校長挨拶	

1 意見交換で出された質問・意見等のまとめ

(1) 学校教育全般について

- ・高校の特色化について中学校との共有をお願いしたい。
- ・学びのスタイルが小中学校においても変わってきている。高校の職員の意識改革も難しいのではないかな。
- ・大学においては、遅れているが学びのスタイルは変わってきている。農学部では地域共創特別コースがスタートした。地域の課題等を含めて、目線が散漫になるような学生もいる。
- ・年内入試が五割といった報道もされている。伊那北高校は国公立志向が強いのか？私立大学もよいのではないかな。
- ・大学入試に関して、年内入試に関する保護者のニーズはどのような状況か。
- ・ICT機器の扱いは市町村によって異なる。高校で困っていることはないかな。
- ・課題研究発表会の発表内容のレベルの高さに驚いている。生徒にやらされている感がないのもよい。
- ・課題研究の講師4名のうち3名が伊那北の卒業生であった。同窓会としてもネットワークづくりを進めていきたい。
- ・カンボジア・ニュージーランド等、留学に関する成果と課題をどのようにとらえているか。また、引率職員の費用の工面を含む、継続のための持続可能な仕組みを考えていきたい。
- ・2/8の選挙に向けて学校としてどのような対応をしているか。

- ・学校の変化や苦勞を親が知る機会があまりない。機会をとらえて（入学式後の説明会の中などに）入れてほしい。
- ・選挙事務の手伝いに応募した生徒の姿を見ていて、理解度の速さや働きぶりに感心している。
- ・上伊那コンソーシアムについて、現在の状況や内容について聞きたい。
- ・伊那北の保護者は、PTA活動に非常に協力的でありがたい。

（２）生徒指導及び基本的な生活習慣について

- ・卒業生が新たな友人、新たなグループで生き生きと生活していることを嬉しく思う。
- ・SNS関係で苦勞していることはあるか。
- ・最近では生徒の問題に関する指摘はない（山寺区）。

（３）高校再編実施計画（伊那新校）について

- ・新校の教育目標等の検討を進めているかと思うが、他者への配慮・敬意等の観点も大事にしてほしい。
- ・新校の情報を中学校にも伝えながら進めてほしい。
- ・地域に向けた新校についての情報も不足しているように感じる。伊那北・弥生ヶ丘ともに数か月に一回程度は情報がほしい。
- ・新校に関する情報は、在学中の生徒にも少なからぬ影響があるため情報としてほしい。心配している。
- ・新校について情報不足が指摘されている。上伊那広域連合でも高校紹介冊子を作成しその中で新校の紹介も取り上げる予定である。
- ・新校に関する業務は、従来の業務にプラスされたものとする。長期間かかわれる職員の必要性や両校の横の連携についてどのように考えるか。
- ・新校校名の募集に900を超える応募があったのは驚きである。

（４）その他

- ・コロナ禍のまとめのブックレットを作成したのでご覧いただきたい（同窓会）。
- ・一万円道路の改良が終わり通行しやすくなってよかった。
- ・一万円道路周辺の市有地の管理（草刈りや整美作業）について、同窓会も対応していくがPTAにも協力してもらいたい。
- ・山寺区でも学校周辺の環境に関する要望書を市長あてに提出している。（グラウンド北側道路、グラウンド排水、生徒送迎他）
- ・山寺区として一万円道路の凍結対策として塩カルを市からもらってきた。